

## 第 1913 回例会報告

### ◇会長告知◇会長 小口 直久

皆さんこんにちは。本日もご多忙の中、例会にご出席いただき誠にありがとうございます。

早いもので、今期も残すところあと1カ月余りとなりました。昨年7月に会長としてスタートした頃は、「一年は長いな」と感じておりましたが、振り返ってみますと本当にあっという間であり、多くの皆様に支えていただきながらここまで歩んでくることができたことに、改めて心より感謝申し上げます。

今期は、創立40周年という大きな節目を終え、新たな時代へ向けた第一歩ともいえる大切な年度でありました。クラブとしての歴史や伝統を見つめ直しながら、「これからの諏訪湖ロータリークラブはどうあるべきか」を皆で考え、語り合う機会の多い一年だったように感じております。

例会活動をはじめ、それぞれの委員会活動において、多くの会員の皆様が力を合わせ、諏訪湖ロータリークラブらしい温かさや行動力を発揮していただきました。時には悩みながら、時には議論を重ねながらも、一歩ずつ前へ進んでこられたことを、会長として大変ありがたく感じております。

そんな中、今の私が大切にしている言葉があります。それは、「終わり良ければ総て良し」という言葉です。どれだけ良い活動を行っても、最後を丁寧に締めくくることができなければ、その年度の価値や意味が十分に伝わらないことがあります。しかし逆に、最後まで真摯に、そして前向きに取り組むことで、その一年の重みや学びはさらに深まるものだと思っています。だからこそ、この残された時間を「もう終わりだから」と考えるのではなく、「最後だからこそ大切にしたい」という思いで、一つひとつの例会や活動を丁寧に積み重ねていきたいと考えております。会長としての任期も終盤を迎えておりますが、最後の日まで気を緩めることなく、全力で取り組んでまいります。

そして本日の例会は、次年度へ向けた「今期の振り返り例会」となっております。各委員長の皆様より、今期の活動を振り返りながら、成果や課題、そして次年度へつなげていきたい点についてお話をいただく予定となっております。単なる反省会ではなく、「今期積み重ねてきたものを、どう未来へつなげていくか」を考える大切な時間にしていきたいと思っています。良かった点はさらに伸ばし、課題については次年度への前向きな引き継ぎとして整理していくことで、クラブとしてさらに成長していけるのではないのでしょうか。ロータリーは単年度制ではありますが、その思いや活動は年度を越えて受け継がれていくものだと思っています。今年度の経験や学びを、しっかり

令和8年5月21日(木)晴

と次年度へバトンとしてつないでいくことも、今の私たちの大切な役割ではないかと感じております。

最後まで諏訪湖ロータリークラブらしく、温かく、前向きに、そして笑顔で今期を締めくくれるよう、会員皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

本日もどうぞよろしくお願いいたします。

|                                                                  |  |         |
|------------------------------------------------------------------|--|---------|
| 長野県歌「信濃の国」 <small>あさい きよし 作詞</small>                             |  | 昭和43年   |
| 1 信濃の国は <small>じっしゅう</small> 十州に <small>さかいつち</small> 境 連ぬる 国にして |  | 5月20日   |
| <small>そび</small> 聳ゆる山は いや高く <small>なが</small> 流るる川は いや遠し        |  | に県歌に制   |
| 松本 伊那 佐久 善光寺 <small>よつ</small> 四つの平は 肥沃の地                        |  | 定された    |
| 海こそなけれ 物さわに <small>よろ</small> 万ず足らぬ 事ぞなき                         |  | ということで、 |
| 皆さんで歌いました。(歌詞は県のHPより)                                            |  |         |

### ◇幹事報告◇ 幹事 成山秀幸

#### 【連絡事項】

1. 来週は休会となりますので、お間違えの無いようお願い致します。
2. 次年度の地区補助金につきまして、今年度と同じ、つつじが丘学園の子供達とのバスハイクを申請し、先日承認されましたのでご報告いたします。
3. 次年度より2年間、米山奨学生「交流クラブ」を引き受ける事となりましたのでご報告致します。交流クラブは、世話クラブとは別に、より多くのロータリアンが米山奨学生と触れ合う機会を設けるために、米山記念奨学会で推奨されているものです。年に数回、クラブの行事に招待いたしますので、ぜひご協力をお願い致します。交流する米山奨学生は、マレーシア国籍で、信州大学理学部3年、ウォン、イン レンさんです。

#### 【受領文書】諏訪湖通信

#### 【出席報告とニコボックス】

| 出席報告    |       | ニコニコボックス |          |
|---------|-------|----------|----------|
|         |       | 利用人数     | 今回の金額    |
| 会員数     | 33人   | 7人       | 17,000円  |
| 出席対象    | 31人   | 前回累計     | 624,000円 |
| 出席者数    | 21人   | 累計       | 641,000円 |
| 出席率     | 67.7% | 目標額      | 70万円     |
| 前回修正出席率 | %     | 達成率      | 91.7%    |

今期も残すところあと1か月余りとなりました。本日は次年度へ向けた振り返り例会です。各委員長の皆様、今期の成果や課題を共有いただき、より良い形で次年度へつながる有意義な時間にしていきたいと思ひます。本



日もよろしくお願い致します。  
(メッセージ無し)

小口直久  
宮坂英貴



例会が少なくなってきました。誕生日などお声掛けさせていただきま  
すので、皆様のご協力をお願い致  
します

### ◇結婚記念祝◇

高山巖会員

「皆様にはお披露目できませんが、良い女房でございます」

宮坂英貴会員

「長続きしている秘訣は、嫁のお母さんを迎えて、私に直接文句が来ないからです」 皆さんおめでとうございます



### ◇例会内容◇ 会長幹事担当例会

#### 「次年度委員長の要望、 想い発表」(先週の続き)

次年度クラブ会報・雑誌広報委員  
長 宮坂英貴会員

クラブ会報雑誌広報委員会では、会員同士の情報共有と交流を深め、クラブへの理解と一体感を深める事を目指します。また、広報活動では、諏訪湖 RC の魅力を地域社会にわかりやすく発信し、クラブの認知度向上に努めます。

次年度 SAA 小口直久会員  
SAA の役割は大切だと思っています。「規律の中にも和やかさを」というテーマを掲げさせていただきました。しっかり例会を運営していきたいと思います。



#### 次年度幹事

北原数也会員

「自分に変化をもたらそう」という会長テーマのもと、各委員長・理事の皆さんと持続可能なインパクトを残すという事に努めたいと思います。至らない点もあるかと思いますが、何卒ご協力を賜りますようお願い致します。

#### 次年度会計

吉澤邦雄会員

支払い、入金処理を正確に行い、スムーズに委員会の事業が行われるよう、手助けしていきたいと思ひます。活動の原資は、皆さんの会費とニコ BOX ですので、速やかに入金していただくよう、お願い致します。



### 「次年度へ向けての各委員長に よる振り返り発表」

#### 望月勉クラブ奉仕委員長

委員会メンバーは、新会員と大御所会員のバランスが良かったです。次年度は、会員の満足度と共に、家族満足度向上をやってほしいです。課題としては、寺島さんだけでなく、メンバー全員が、受付の際にパソコンを使えるようにしてほしいです。

#### 田中久登職業奉仕委員長

皆さんの職業奉仕に対する考え方が違い、難しいと思ったため、お互いの認識を高めた方が良いという事で、ディスカッション例会を行いました。会長の原点に戻るというテーマもあったので、職業奉仕とはどういう物かという皆さんの考えもデータに残せて良かったです。

#### 五味弾社会奉仕委員長

委員会内のアンケートで、良かった点は、まるごみ調査の子供達の人数が多かったなどです。長期計画の策定が出来なかった所が不満という意見もありました。反省点は、学校の行事等を把握しておらず、里山整備の人数が少なかった、諏訪湖清掃や里山整備が、子供達にどんな効果があるのか、という意見がありました。

#### 宮坂英貴国際奉仕委員長

セブ島支援やマクタン RC との交流事業について、最終的な国際奉仕活動として、着実に前進している事が確認できました。一方、活動内容の情報共有や、クラブ全体の参加意識の向上が必要との意見が出されました。

#### 小笠原仁青少年奉仕委員長

つつじが丘の支援について、従来の物品の補助ではなく、今年は一緒に旅行に行き、心の通った事業が出来たと思います。本来は一度の旅行だけでなく、外部の人達とのふれあいが子供達にとって良い刺激になるので、何度も学園に足を運ぶ事が必要だと思います。

#### 北原数也クラブ会報・雑誌広報委員長

事業計画通りの活動が出来たのでは無いかと思います。良かった点として、委員長や副委員長が参加できなかった事業でも、他の皆さんが写真を撮ってくれた事です。



5/24 諏訪湖 RC ゴルフコンペ春の陣が行  
われました

